

令和8年度学校評価 重点目標・評価項目・評価の観点

教育目標

- 1 様々な学習歴や生活歴をもつ生徒が、安心・安全な環境の中で、一人ひとり潜在する能力や適性を十分に発揮できるようにする。
- 2 生徒一人ひとりが、学校生活をとおして自己の目標を見つけ、自信を持って自立することができる教育を目指す。

中・長期的目標	総合評価
(1)教育目標達成に向け、客観的な学校評価を可能にするため、学校関係者の評価を受け、それに基づく具体的改善策を検討実施する。	
(2)わかる授業の展開と、それに伴う授業評価の方法を構築する。	
(3)学校・家庭・地域が一体となって生徒を育てていくという連帯意識・協力関係の醸成を図り、本校定時制の質的改善を目指す。	
(4)自学自習の実践。自分で考え、自分で行う力の育成を図る。	

本年度の重点目標	成果と課題
① 丁寧な指導により、生徒の学習意欲を高める。	
② 生徒に寄り添いながら、自立を支援する。	
③ 早期からの進路指導を充実させ、多様な進路希望実現を図る。	
④ 衛生的・健康的できれいな学校をつくる。	
⑤ 生徒にとって居場所のある楽しい学校をつくる。	
⑥ いじめ・暴力・体罰のない安全・安心な学校をつくる。	
⑦ 家庭との連絡を密にとり、生徒を共に育てていく。	

【評価】 A：十分達成 B：ほぼ達成 C：やや不十分 D：不十分

重点目標	評価項目	評価の観点	A	B	C	D
① 丁寧な指導により、生徒の学習意欲と学力を高める	個別指導の充実	1 生徒一人ひとりの学習課題を把握できたか				
		2 学習課題に応じた指導ができたか				
	苦手教科のある生徒への指導	3 補充指導を十分に行うことができたか				
		4 提出物の指導ができたか				
	指導方法の改善	5 学習状況についての情報共有ができたか				
		6 教材の工夫ができたか				
		7 授業評価を授業改善に活かすことができたか				
	特設授業の充実	8 生徒の学習意欲や学力向上の期待に応える授業の工夫ができたか				
	個に応じた指導の充実	9 夏期補習を実施できたか				
		10 進学補習と基礎力補充ができたか				
		11 就業支援に応える補習ができたか				
② 生徒に寄り添いながら自立を支援する	生徒が抱える悩みの把握	12 早い段階で生徒の悩みを把握し、対応ができたか				
	生徒支援チームの活動	13 生徒支援チームを立ち上げ機能させることができたか				
		14 生徒支援に関する情報の共有ができたか				
		15 外部機関との連携を十分に行えたか				
	開かれた学校づくり	16 地域に開かれた学校づくりができたか				
		17 外部との連携ができたか				
	在校生の就業支援(アルバイト)	18 生徒の希望に応える支援ができたか				
	キャリア教育の充実	19 インターンシップを実施できたか				
20 就業体験活動を実施できたか						
③ 早期からの進路指導を充実させ、多様な進路希望実現を図る	進路目標の早期確立	21 進路講話やガイダンスにより生徒の意識を高めることができたか				
		22 個別面談を実施し生徒の目標を明らかにできたか				
	三修制生徒の進路指導	23 希望する進路の実現を支援できたか				
	就職希望者に対する進路指導	24 外部機関との連携ができたか				
		25 希望する就職の実現を支援できたか				
④ 衛生的・健康的で、きれいな学校をつくる	全校清掃の計画と実施	26 定期的な全校清掃が実施できたか				
	上下履きの区別	27 登校時指導が実施できたか				
	健康や環境に対する意識の向上	28 総合的な学習での取り組みができたか				
	衛生的な環境の保持と感染症予防	29 消毒・手洗い等の励行や健康観察ができたか				
⑤ 生徒にとって居場所のある楽しい学校をつくる	LHR時間の充実	30 LHR時間を十分に確保しクラスの活動ができたか				
		31 内容の充実をはかることができたか				
	生徒主体による行事の実現	32 生徒会による行事の運営ができたか				
		33 仲間づくりにつながる行事の実施ができたか				
⑥ いじめ・暴力・体罰のない安全・安心な学校をつくる	いじめ・暴力・体罰のない安全、安心な学校、居場所づくり	34 生徒の意識を高める指導が実施できたか				
		35 発生した事案に対し適切に対処できたか				
⑦ 家庭との連絡を密に取り、生徒を共に育てていく	家庭との連絡	36 必要な情報を家庭に発信できたか				
		37 生徒の変化・異常を見逃さずに家庭に連絡できたか				